

科目	国際労働	担当	雨宮 康樹	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

20世紀後半急速に進展したグローバリゼーションは先進国の労働市場にさまざまな影響をもたらしている。グローバリゼーションは先進国労働市場での知識労働への需要を引き上げるとともに、未熟練労働への需要を減少させ、その結果、所得格差が多くの先進国で拡大している。おもに影響を受けているのは若者と女性、低学歴層である。この授業では、日本や欧米諸国における労働市場のさまざまな問題を経済学の知識を応用しながら分析し、多くの国民が健康で文化的な生活を享受できる社会への道を探る。

【履修注意】

講義開始時に履修上のルールを説明する。ルールを順守できないと思う学生は、第一回講義終了後、履修変更すること。

【評価方法】

中間まとめ、期末試験(80%)および出席(20%)

【試験について】

中間まとめ、期末試験を実施する

再試験対象者の条件：中間まとめと期末試験の平均点が50点以上の者

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要。

【教科書】

購入教科書なし

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	ゆたかな社会	ゆたかな社会 アメリカ 西欧諸国 日本
2	戦後日本の経済発展	昭和30年代 集団就職 若年未熟練労働者
3	戦後日本の経済発展	昭和40年代以降 日本型経営 長期雇用 年功賃金
4	戦後日本の経済発展	一億総中流社会
5	経済のグローバル化と労働市場	製造業の海外直接投資 先進国の労働需要
6	経済のサービス化と労働市場	サービス産業の特質 サービス産業がもたらす労働市場の変化
7	拡がる賃金格差 所得格差(1)	ジニ係数 中央値 相対的貧困 拡がる格差 貧困
8	拡がる賃金格差 所得格差(2)	ジニ係数や相対的貧困率を用いた国際比較
9	格差社会と幸福度	ジニ係数の国際比較と世界幸福度調査
10	世界一幸せな国	デンマーク社会と経済
11	世界一幸せな国	デンマーク社会と経済
12	世界一幸せな国	デンマーク社会と経済
13	フレクセキュリティ	注目されるデンマークの労働市場
14	欧米各国の労働市場	フレクセキュリティの視点から
15	日本の若者と雇用環境	二重労働市場問題への対応策 OECDの提言
16	期末試験	総まとめ